

平成 27 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 : 富士石油株式会社
 代表者名 : 取締役社長 柴 生 田 敦 夫
 (コード番号 : 5017 東証第一部)
 問合せ先 : 総務部 IR・広報グループ 簾内 清人
 TEL : (03)5462-7803
 URL : <http://www.foc.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 5 月 12 日公表の平成 28 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 27 年 5 月 12 日発表)	516,000	9,200	8,400	7,500	97.32
今回修正予想 (B)	467,000	3,100	4,100	3,700	48.01
増減額 (B-A)	△49,000	△6,100	△4,300	△3,800	
増減率 (%)	△9.5	△66.3	△51.2	△50.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	666,179	△20,327	△18,624	△18,109	△234.99

2. 修正の理由

前回予想 (平成 27 年 5 月 12 日発表) 以降の原油価格及び為替レート変動等を勘案し、通期の業績予想を修正します。

今回の修正見通しの前提として、原油価格 (ドバイ原油) は下期 50 ドル / バレル (前回予想同 60 ドル / バレル)、為替レートは下期 122.5 円 / ドル (前回予想同 120 円 / ドル) といたしました。

売上高は、原油価格の想定を引き下げたことにより、前回予想比 490 億円減収の 4,670 億円となる見通しです。

損益につきましては、下期において製品マージンの回復や原油価格下落によるアスファルトピッチの採算改善、自家燃料費の低減等により前回予想より増益を見込むものの、上期実績が製品マージンの縮小及び在庫評価損の計上等により前回予想を大きく下回ったことで、営業利益 31 億円 (前回

予想比 61 億円減益)、経常利益 41 億円(同 43 億円減益)、親会社株主に帰属する当期純利益 37 億円(同 38 億円減益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた営業利益相当額は 48 億円(前回予想比 20 億円減益)、経常利益相当額は 58 億円(同2億円減益)となる見通しです。

【在庫影響(※)および在庫影響を除いた利益相当額(通期)】

(単位:億円)

	前回予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
在庫影響	24	△17	△41
在庫影響を除いた 営業利益相当額	68	48	△20
在庫影響を除いた 経常利益相当額	60	58	△2

※総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上